

## 認定看護師の役割と活動

### 第9回 『皮膚・排泄ケア認定看護師』

函館五稜郭病院

せんごく まゆみ  
仙石 真由美 様

令和3年11月掲載

皮膚・排泄ケア認定看護師は、熟練した看護技術と知識を用いてスキントラブルの予防・改善のために、患者・家族の支援や、医師・看護師からの相談を受けて、ケア方法の提案や指導する役割を持っています。

英語表記では「Certified Nurse in Wound, Ostomy and Continence Nursing」で、創傷（Wound）、ストーマ（Ostomy）、失禁（Continence）が、活動の3本柱となります。頭文字をとってWOC（ウォック）と呼ばれることもあります。

#### W (Wound) = 創傷 (キズ)

床ずれや足潰瘍などがイメージしやすいかと思いますが、近年ではスキンケアや、医療機器の圧迫によるスキントラブルも問題視されるようになっていきます。

スキンケアとは 高齢者の四肢に摩擦やずれによって生じる外傷性創傷です。高齢者は皮膚が脆弱化・菲薄化しており乾燥していることが多いのですが、体位交換や着替えの介助、車椅子への移動介助時に皮膚がぶつかったりこすれたりしただけで、皮膚が裂けてしまうことがあります。また、絆創膏を剥がすときに一緒に皮膚がはげてしまうこともあり

ます。予防ケアでは、皮膚の保湿と保護が重要となりますので、病院や高齢者介護施設では、床ずれ対策とともにスキンケアに関する適切な予防対策ができていくかを問われるようになっていきます。

医療機器の圧迫による創傷には、酸素チューブ、栄養チューブによる鼻腔の潰瘍、尿道留置カテーテルによる潰瘍、胃瘻の外部ストッパーによる潰瘍などがあります。病院以外の様々な療養場所でも使用されている医療機器ですので、関わる人々はトラブル予防の知識や対策方法を知っておく必要があるといえます。

創傷では予防に重点をおくことが大切ですが、予防や治療に使用されるドレッシング材や、福祉用具（エアーマットレス・クッション・車椅子など）は、種類がたくさんあるので、何をどう選んだらよいのか困ることもあると思います。

使用される方の状況を詳しく教えていただけると、詳しいアドバイスが可能になりますので是非ご相談下さい。

### ○（Ostomy）=ストーマ(人工肛門 人工膀胱)

ストーマを造る手術を控えている方に、ストーマケアについての情報提供や、ストーマを保有されている方（オストメイト）のストーマ周囲皮膚の管理、ストーマ装具の選択、日常生活のアドバイス、精神的なサポートなどを行っています。

当院では年間約 100 件のストーマ造設が行われていますが、近年は 65～70 歳の前期高齢者が 3 割、75 歳以上の後期高齢者が 4 割で、医療の進歩によりオストメイトも超高齢化しています。ストーマケアのサポートが必要なケースは、必然的に年々増えていくことが予測できます。本人・ご家族への指導は基本的にストーマ外来での対応となります

が、遠方の方も多いため、病院受診日に合わせて対応しています。

訪問看護師との連携は、ID-LINK やメール、SNS などを活用して、相談やトラブルへの対応方法などを提案しています。

訪問看護ステーションで活動している皮膚・排泄ケア認定看護師は同行訪問や施設での指導なども行っていますので、相談していただけたらと思います。

訪問看護ステーション エクラ

函館市花園町 10 番 32 号

Tel : 0138-84-1105 / Fax : 0138-86-6115

福島一也（皮膚・排泄ケア認定看護師）

ストーマ外来の開催曜日や時間などは、各病院のホームページからご確認ください。また、日本創傷・オストミー・失禁管理学会のホームページからは、全国のストーマ外来も検索できます。

### C (inContinence) = 失禁（尿や便の漏れ）

病気や手術後、加齢によって発生する尿や便失禁の改善を促すケアを行います。

また、失禁によるスキントラブルの予防や改善のためのケアを行います。

院内での相談内容は、寝たきりの方の下剤の使用法、オムツの正しい着用方法、下痢による肛門周囲のかぶれ・ただれの対応方法などがほとんどです。

排泄に影響を及ぼすものは、疾患・身体状況・内服薬・食事・活動・睡眠・精神状況など多岐にわたり、生活を見直して可能な改善策を考え

るなど根気強く取り組む必要があります。

失禁などの排泄障害は、その人の自尊心を傷つけ、生活範囲を狭めるなど、生活の質（QOL）を低下させてしまいます。気持ちよく排泄してもらえるケアを提供できる人々を育てるために「排泄ケアを考える会」を立ち上げ活動しています。

つい最近ですが、排泄ケアの知識をさらに深め、排泄ケアの相談所を開業した皮膚・排泄ケア認定看護師もおりますので、是非ご相談下さい。

訪問フットケア&はいせつ相談所「ミニむつき庵」ひだまり  
函館本通4丁目27-10 Tel：080-5443-3942  
荒本明子（皮膚・排泄ケア認定看護師）

道南地域には、15人の皮膚・排泄ケア認定看護師がおり、「道南創傷治癒研究会—スキンケア部会—」を通して、知識だけではなく技術を学ぶための勉強会などを行っていますが、現在コロナ禍で活動休止しています。再開しましたら医療施設・介護施設に案内されますので、みなさま是非ご参加下さい。

私が開催しているのは、テーマは何でもありの「道南動作介助を考える会」や、SNSメンバーによる「スキンケア倶楽部（創傷・ストーマケア・排泄ケアなどの相談・アドバイス）」などがあります。

参加希望や相談などは [dounanwoc@gmail.com](mailto:dounanwoc@gmail.com)（仙石）までご連絡下さい。

●現在、函館市内では下記の病院に在職しています●

市立函館病院 函館中央病院 函館五稜郭病院 函館新都市病院  
函館医師会病院 国立病院機構函館病院 共愛会病院  
北美原クリニック

●病院以外では●

訪問看護ステーション エクラ

函館市花園町 10 番 32 号

Tel : 0138-84-1105 / Fax : 0138-86-6115

福島一也（皮膚・排泄ケア認定看護師）

訪問フットケア&はいせつ相談所「ミニむつき庵」ひだまり

函館本通 4 丁目 27-10 Tel : 080-5443-3942

荒本明子（皮膚・排泄ケア認定看護師）